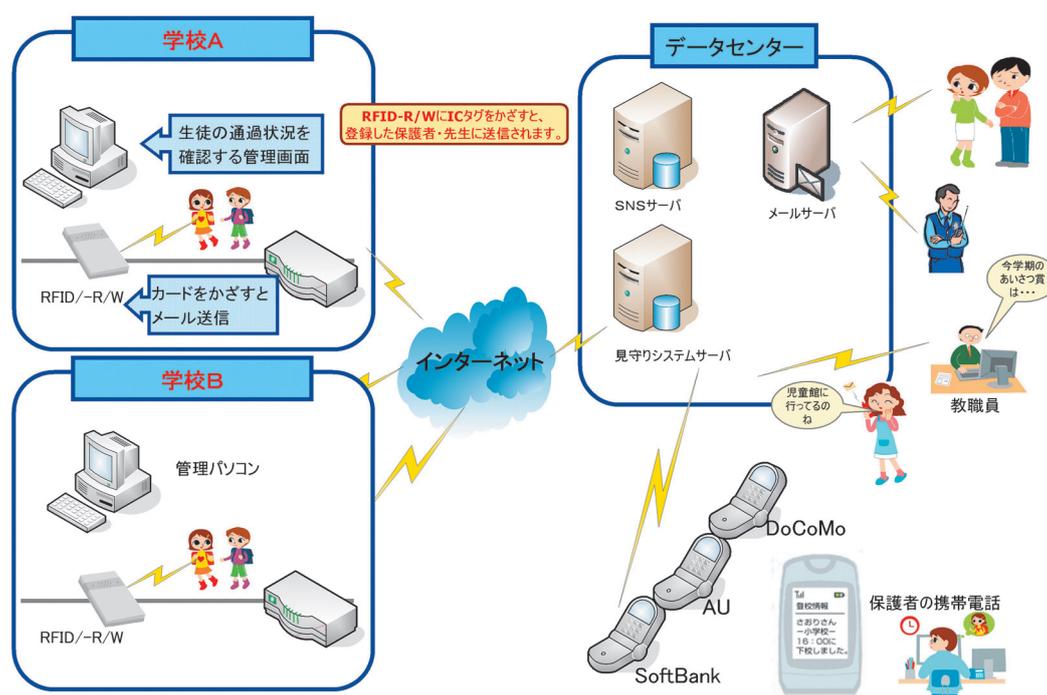


2.1.2 地域児童見守りシステムモデル事業(東京都小平市)

【概要】

本事業は、ICTを活用して児童の登下校の情報を保護者へ提供することはもちろんのこと、児童自身の安全意識の向上を図りつつ、同時に児童と地域の接点やコミュニケーションを増加・活性化させることで、地域全体で児童を見守る「目」を増やし「安全・安心なまちづくり」を目指す取り組みです。

【平成18年度 地域児童見守りシステムモデル事業】



【コラム】

このシステムで実現する機能を記します。

- ① 登下校確認
下駄箱に設置しているリーダーにICカードをかざすと、子どもの登下校の状況を保護者の方の携帯メール等にお知らせすることができます。
- ② 情報提供
不審者情報や台風情報等の緊急連絡や一般連絡を保護者の方の携帯メール等にお知らせすることができます。
- ③ その他(あいさつポイントシステム)
公共施設(図書館や公民館等)にもリーダーを設置し、子どもが公共施設に行った情報も保護者の携帯等のメールに知らせるか、または携帯にアクセスして確認することができます。(またポイントをためることができます)

次に、成果を記します。

- ① システムの成果について
児童見守りシステムについては、教育委員会別や学校別管理等、公立小学校向けのシステム仕様に開発



特集 3

あなたが住む街の安心安全への取組

を実施しました。本開発及びASPでの提供により、他の市町村の公立小学校への共通プラットフォームとして事業展開が可能です。

リーダーは全小学校のほか全学童保育所、帰国児童生徒教室に設置しています。

② 運用の成果について

本事業実施において、学校側の負担を軽減するため、学校別に共通IDと共通パスワードを配布し、保護者が自ら登録する仕組みを用意しています。

また、保護者用の統一窓口（コールセンター）を開設し、市内全小学校の問い合わせにも対応可能なレベルまで達しました。小平市内だけでなく、他の市町村まで展開できる運用スキームを確立しています。

[事業費(うち、国からの補助額・委託額等)]

7,593万円(総務省、地域ICT利活用モデル構築事業)

(問い合わせ先)

小平市教育委員会

TEL:042-346-9572

出典:地域児童見守りシステムモデル事業 事例集

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2009/pdf/090109_2_sk.pdf

児童見守りシステム導入の手引書

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2009/pdf/090109_2_tb.pdf